

# 自立支援住宅改修のご案内

自立した生活を援助するため、手すりの取付けや床の段差の解消などの改修費用の一部を助成します。

## 1 対象者

新宿区内に住所がある65歳以上の方で、介護保険の認定結果が『非該当』で日常生活動作に不安のある方。

## 2 対象種目および助成限度額

対象種目	助成限度額(税込)
(1) 手すりの取付け	20万円
(2) 段差や傾斜の解消(スロープの設置など)	
(3) 滑りにくい床材・移動しやすい床材への変更	
(4) 開き戸から引き戸等への扉の取替え、扉の撤去	
(5) 和式便器から洋式便器への取替え等	

※上記(1)から(5)までの工事は同時にできますが、申請は1回限りで、助成限度額以下の工事で残金があっても複数回の申請はできません。

## 3 費用

改修にかかる費用の「1割」「2割」または「3割」

※ 利用者の所得に応じて、助成限度額内でかかった費用の1割、2割または3割を利用者が負担してください。残りの9割、8割または7割の費用は、区から直接施工業者へ支払います。

※ 助成限度額を超えた費用は、利用者負担となります。

裏面に続く

## 4 手続

- (1) 工事前に区役所の介護保険課給付係に住宅改修について相談してください。
- (2) 区職員が利用者の身体・住宅等の状況調査のために自宅を訪問します。訪問時にこの制度の対象となるかを確認し、申込みを受け付けます。
- (3) 区から施工業者に見積もりを依頼します。
- (4) 区で書類審査後、利用者宅に「自立支援住宅改修給付決定通知書」を送付します。(利用者負担の割合と利用者負担額については、給付決定通知書に記載しますので確認してください。)
- (5) 給付決定通知書が届いたら施工業者に工事の承認を伝え工事を開始してください。
- (6) 工事終了後、費用(利用者負担分)の支払いとともに「給付券」に利用者が署名・押印をした後、施工業者に渡してください。(工事完了後、必要に応じて、区職員が検査・立会を行う場合があります。)

## 5 注意事項

※ この助成を受けるためには、改修を行う前に相談・申込みが必要です。相談の時点で工事を開始しているものや既に工事が終了しているものについては適用できません。

※ 住宅が老朽化したという理由での工事は、この制度を適用できません。

※ 申込みから工事の承認をお知らせする決定通知書を送付するまで、約10日間(土日祝日除く)かかりますので、余裕をもって相談・申込みをしてください。

その他、ご不明な点などありましたら下記までお問い合わせください。

### 相談・問合せ先

〒160-8484

新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区 福祉部 介護保険課 給付係

電話番号 03-5273-4176

ファクス 03-3209-6010